

# たより from おんがた

発行人

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会  
恩方育成園 施設長 久保田 美幸  
〒192-0154 八王子市下恩方町 2794-1  
Tel 042(652)3825 Fax 042(652)3826



## ノーマライゼーション「普通(当たり前)の存在」～忘れてはいけない！「相模原障害者施設殺傷事件」～

新緑も深まり、鳥のさえずりと共に親鳥が餌を運び入る姿にひなの鳴き声が響き渡り、恵の梅雨を迎え、旅立ちの夏に向けて子育てが行われています。当園においても新任職員が先輩や利用者からの学びを通して、日々葛藤を繰り返しながらも成長していく姿にエールを送ります。

新型コロナウイルス感染症が発生してから3年目に入り、世の中はウィズコロナとして少しずつ動き始めていますが、4回目のワクチンや第7波の警戒など未だ終息は見えない状況が続く中、今もなお向き合い続けている医療従事者及び福祉従事者を始めとするエッセンシャルワーカーに重ねて「ありがとう」と感謝のエールを贈り、経口薬など有効な治療法による早期終息を心より願います。

夏を迎えるこの時期になると忘れていけない、いや、決して忘れてはいけない。2016年7月26日未明に、「障害者は生きている価値はない」と障害者支援施設の利用者を殺傷した凄惨な事件であった「相模原障害者施設殺傷事件」、加害者は元職員と信じがたい事件です。

1950年代、デンマークのエルス・エリク・バンク・ミケルセンが「障害者は、他の市民と平等の存在であること。同じ一般法で援助されるべきであること。」と主張し、世界で初めて「障害のある人たちに、障害のない人々と同じ生活条件を作り出し、同じ生活と権利が保障されること」を理念とした「ノーマライゼーション」を提唱され、デンマークの知的障害児者親の会が、「①1,500人収容する大型施設を20～30人の小規模な施設にすること。②社会から分離されていた施設を親や保護者の生活する地域に造ること。③ほかのこどもと同じように教育を受ける機会をつくること。」と3つのスローガンを掲げ、1959年にノーマライゼーション法とも呼ばれる知的障害者福祉法が制定されました。1960年には、スウェーデンの知的障害児者連盟のベンクト・ニリエが、バンク・ミケルセンのノーマライゼーションの理念に影響を受け、一般の人々と同等のノーマル(普通)なライフサイクルを送る権利があるとして、「①一日の普通のリズム ②一週間の普通のリス

ム ③一年間の普通のリズム ④当たり前)の成長の過程をたどること ⑤自由と希望を持ち、周りの人もそれを認め、尊重してくれること ⑥男性、女性どちらもいる世界に住むこと ⑦平均的経済水準が保障されること ⑧普通の地域の普通の家に住むこと」と“ノーマライゼーションの8つの基本原理”を提唱しました。

その運動が起因となり障害者権利条約が制定され、障害者総合支援法における目的や基本理念となり、共生社会の実現に向けた福祉計画等が策定されています。

当事者は、「相模原障害者施設殺傷事件」をどのように捉えているのか。「わたしたちは『しょうがいしゃ』であるまえに人間だ」をスローガンとして、「自分たちのことは自分たちで決める」という、親や職員が決めるのではない『自己決定』から始まる当事者運動を展開しているピープルファーストジャパンでは、事件以後に毎年開催されているピープルファースト大会で事件を踏まえた要望書の提出やシンポジウムの開催などの当事者運動の活動報告が行われ、2度と起きてはならない重大な事件として捉え、自らの“存在”を自らの手で社会に訴えています。

「私にとっての利用者とは何か」私たち専門職として根幹を成す問です。彼ら彼女ら(利用者)の「存在」は、「だれととりかえることができない“存在”」であり、彼ら彼女らがいるから私たちの存在もあります。ある法人の理事長が「支援の本質は関係性の中にあります。・・・障害のある人と支援者が、相互に影響しあい、響きあい、お互いの存在を尊重し合う、まさに対等な関係があつて成り立ちます。」と話されています。私たち一人ひとは、まだまだ未熟な点も多く、時に葛藤を重ねながらチーム(組織)で支え合い、彼ら彼女らと共に体験し共感し感動を積み重ねていく過程に互いの成長があり、本人らしい自己実現があります。

施設長 久保田 美幸



# 新職員紹介



## 宿谷勇太 はやて班

この度、入所施設「とぶき育成園」から異動になりました。恩方育成園の利用者の皆様とこれから関係を築きながら色々な経験をさせて頂きたいと思います。同じ入所施設での経験を活かし、利用者の皆様に寄り添い日々の暮らしがより良くなります様、尽力してまいりたいと思います。



## 飯野貴之 やまびこ班

昨年9月に入職しましたやまびこ班の飯野貴之です。以前は生活介護の施設で働いていました。

持ち前のバイタリティと今までの経験を活かしつつ恩方育成園の皆様と、様々な経験を積みながら自分も利用者も成長できるような職員として頑張っていきたいと思います。



## 田村信輔 のぞみ班

前の職場では、塗装の仕事をしていました。福祉の事は、未経験で分からないことが多いと思いますが、先輩職員から多くの事を学んで頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。



## 赤城真悠 こまち班

はじめまして。新任の赤城真悠です。大学では児童教育学を専攻していました。学生時代はソフトボールと演劇部に所属していました。そのため、利用者の皆さんと、楽しく運動をしたり演劇をして一緒に充実した生活を送りたいと思います。私には福祉の知識があまりなく不安な事が多い毎日ですが、利用者の皆さんを第一に考えた支援に関わっていく事ができるよう努めていきます。どうぞよろしくお願い致します。



## 渋木あきな ひかり班

世田谷区の「桜上水福祉園」から移動になりました。皆さんがたくさんの笑顔で安心して生活できるように明るく元気に頑張ります。



## 柴田ちひろ ひかり班

本年度より、恩方育成園で働かせていただくことになりました。柴田ちひろと申します。大学では児童学を学んでいました。至らぬ点多々あると思いますが、日々の支援に取り組む中で成長していくことが出来るように頑張ります。宜しくお願いします。

# 2階男性 & 3階男性 日常風景



外でお弁当を食べました！  
天気にも恵まれ  
より一層美味しく感じました♪



## 2階男性 ランチ外出



ピース♪



園で食べる給食も美味しいですけど  
お店で食べる料理は特別感もあって  
美味しいですね！



## 3階男性 職員歓迎会



おかわり！



職員特製の Pasta は大人気で  
おかわり分もすぐになくなってしま  
うほど美味しかったようです♪

## 2女と3女の 余暇の風景

## 2女と3女の 合同誕生日会！



ひかり班はデザートを手作しました！



こまち班はサロンでケーキ！  
とても美味しかったです！



天気が良かったので  
外でお弁当！



まだかな～



久しぶりの甘い甘いデザート、  
とても美味しかったのか、皆さんすぐ  
食べてしまいました！



恩方育成園ではスタッフ及び  
ボランティアを募集しています！  
お気軽にお問合せください♪

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会  
障害者支援施設 恩方育成園

〒192-0154 東京都八王子市下恩方町 2794-1  
TEL 042-652-3825 FAX 042-652-3826  
URL <http://www.ikuseikai-tky.or.jp/~iku-ongata/>

採用担当：岡、本田、田代  
ボランティア担当：門倉志保

### 編集後記

今年が始まり、もう半年が経とうとしています。少しずつですがコロナの状況も変化していき、出来る事が増えつつあります。ですが、感染対策などきちんと行い、油断せず利用者さんが安全に楽しめるよう努めていきたいと思っています。また、今年度も保護者、地域の皆様に、広報にて利用者の皆様の様子を伝えていきたいと思っております。

広報委員会 梅澤